

砧のひびき

157号



発行日 令和6年2月9日
発行者 砧のひびき編集委員会
事務局 砧まちづくりセンター

岡本駐在所の磯 和孝さんのご紹介



岡本には駐在所があります。成城警察署管内7ヶ所ある駐在所の一つが岡本駐在所です。そして、駐在所には、平成27年から磯 和孝さんという警察官が勤務されており、9年目となります。駐在所では、ご家族も一緒に生活されています。

今回は、その磯 和孝さんをご紹介するとともに、磯さんの活動に対し、いかに私たちが感謝しているか、親しみを持っているかをお話ししてみたいと思います。

まずは駐在所と交番の違いですが、おもに都市部に置かれ、数人の警察官が交替で勤務するのが交番です。駐在所は、おもに郊外や山間部などに設置され、原則1人(1家族)の警察官が寝泊まりしながら勤務しています。

駐在所の警察官は、24時間勤務となります。そんな駐在所勤務をしている磯さんの多岐に渡る活動の一部をご紹介します。

磯さんの一日は、朝の登校時の交通整理(通称「急坂」東京富士見坂)から始まります。

その後、通常業務のパトロール・巡回連絡等にあたり、近隣の小・中学校に出向いて、「交通ルール」、「警察官の仕事」、「防犯教室」の話、お年寄りの会合「千寿会」等での「詐欺防止」話にも出かけます。

また、町会の年中行事、「手持ち花火大会」、「盆踊り大会」、「お祭り」、「古着回収」等での見回り、交通整理、毎月の役員会議への出席、PTA校外委員さんとの防犯パトロールも行っています。

そんな忙しい合間を縫って10月5日に行われた警視庁警察署対抗柔道大会団体戦では、成城警察署の選手として参加し、優勝に貢献しました。

まだ書ききれない事がたくさんありますが…日夜、町会のために活動されている磯さんに感謝申しあげたいと思います。

岡本自治会長 荻野 壽一
横須賀 歌子



手持ち花火大会で警備にあたる磯さん



子ども達の朝の登校を見守ってくれています

世田谷区、砧地区(砧・大蔵・岡本・砧公園)の人口・世帯数統計

令和6年1月1日現在	人口(前年同月比)	総世帯数(前年同月比)
世田谷区	918,141人(↑2,702)	496,436世帯(↑4,851)
砧地区	42,591人(↓10)	20,496世帯(↑88)

世田谷区のホームページでもご覧になれます。
『砧のひびき』『砧地区ミニコミ』で検索してください。

「砧のあれこれ」③ ～谷内六郎さんへの散歩道～

「週刊〇〇本日、発売」の週刊誌の表紙で一世を風靡し大変有名になった谷内六郎さんの邸宅が砧8丁目にあります。私の大好きな散歩コース。自宅から三峯神社の前を歩いて西へ10数分。仙川の少し手前。そこに、六郎さんの邸宅があります。その入口の右側に「上之台遺跡」の壁画があります。谷内六郎さんの庭から弥生後期土師器タテ穴住居一軒が出土し「上之台遺跡」と指定されました。六郎さんは、「この家の生まれ変わりがボクであるかも」と文に綴っておられます。この遺跡が余程気に入られて、壁画を制作されたのでは、ないでしょうか。



「上之台遺跡の壁画」(砧8丁目の谷内六郎氏住居)



壁画の言葉には、「……土器類は都文化財として世田谷考古館に保存されています。」と記されています。壁画にその土器類が二人の子供たちと共に宙に浮かんでいるように描かれています。過去・現在・未来が自由に行き来しているようで、多様な想像力を掻き立てられるのが不思議です。何回観ても、飽きません。今回は、あの土器のお陰で美味しそうな煮物ができ、子どもたちが家族に囲まれて嬉しそうにしている場面が浮かびます。心の温もりを感じました。

谷内六郎さんの絵は、日本の原風景を私どもの心に思い描かせてくれる素晴らしいものばかりです。どこかで観たような懐かしい想いがする風景です。それは、谷内六郎さんの創造した風景なのですが。今こそ、谷内六郎さんの絵が求められる時代なのではないでしょうか。砧の、世田谷の、日本の大事な文化財です。

砧の散歩人 竹内 秀雄

プロフィール



谷内六郎(1921-1981年)

1921年東京恵比寿に9人きょうだいの6男として生まれる。小学校卒業後、漫画や挿絵を新聞や雑誌に投稿し1955年に第一回文芸春秋漫画賞を受賞。翌年、雑誌『週刊新潮』の創刊と同時に表紙絵を依頼される。1981年1月に急性心不全のため亡くなるが、その時点で『週刊新潮』表紙絵は1303枚となっていた。その後、未発表作品などでこの年の最終号まで表紙を飾ったため、合計は1335枚となる。

谷内は25年の間表紙絵を描きつづけ、表紙を飾った期間は足かけ26年にわたる。



©Michiko Taniuchi

『週刊新潮』の表紙にもなった作品<梅>1978年

※『週刊新潮』表紙の原画は横須賀美術館・谷内六郎館にて観覧可能

ご存じですか！ 砧婦人団体連合会



12月11日(月)に砧婦人団体連合会主催の、「防災食料理講習会」が、砧まちづくりセンターで行われました。災害時の食生活に関する講習会で、手元にある材料だけで、短時間に、少ない道具で作ることを主眼にしています。案内役も団体の中のメンバーがつとめました。

参加者がベテラン主婦ぞろいのせいか、4グループそれぞれが工夫して、手早く作り上げました。おしゃれなお品書きのメニューは10種類。災害時になんとかお腹を満たすだけの食事と思いきや、「とてもおいしい」、「なんと豪華な昼食」、「もっと別のメニューにも挑戦したい」など前向きな意見が多く聞かれました。

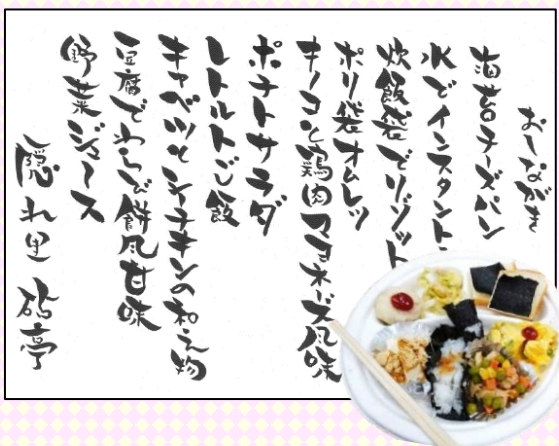
この活動の主催「砧婦人団体連合会」は、『婦人の教養と情操を高め文化の向上に資すると共に、婦人団体相互の親睦を図り併せて青少年の保護育成に協力し、地域社会の明朗化を目的として(砧婦人団体連合会規約より抜粋)』、昭和32年に発足、今年で67年目となります。町会・自治会からの役員、約20名で構成されています。

今回のような講習会に加え、普通救命講習会、手芸講習会、バス研修会、観劇会などで、地域内の団体相互の親睦を図っています。毎年5月に行われる、「砧地区緑化まつり」のお餅の販売は、皆さまの印象に強く残っていることでしょう。白い割烹着に三角巾の姿で、黙々ときな粉とあんこのお餅を作り、販売をしているのが、この「砧婦人団体連合会」です。



現在、全国では残念ながら、後継者不足などから、こうした婦人団体の解散が続いているそうです。防災やイベント、地域の絆づくり、今こそ婦人の力を結集して、地域の活性化に貢献することが求められています。幸い、秋山会長を中心に、「砧婦人団体連合会」のチームワークは万全です。今後も婦人の特色を生かした活動に、ご注目ください！

法人格砧町自治会 栗山 励子



新任職員の紹介



砧あんしんすこやかセンター
渡辺 優里菜(わたなべ ゆりな)

10月から入職いたしました。あんしんすこやかセンター職員として、そして保健師としてみなさんの暮らしを支えていけるよう頑張ります。まだ働き始めて日は浅いですが、これから砧地域についてたくさん学んでみなさんに頼っていただける職員となれるよう尽力します。地域でお会いした際や講座等でお話する機会がありましたらぜひ気軽に話しかけていただけたら嬉しいです。よろしくお願いいたします。

【退職】お世話になりました
砧あんしんすこやかセンター/森 亜紀

令和5年度お礼とご報告

- 古着古布回収 6月：11.410トン 11月：11.920トン
・次回は6月19日(水)～22日(土)に実施します
(日によって会場が変わりますので、実施前のお知らせを見てご確認ください)
- 赤い羽根共同募金 539件 573,571円
・生活支援事業や総合福祉事業等に使われます
- 歳末たすけあい・地域支えあい募金 619件 629,700円
・見舞金と地域福祉活動費として地域福祉のために活かされています



ご協力ありがとうございました



発行日は何の日？

砧のひびき157号の発行日、2月9日は29(ふく)に因んで大福の日と言われることがあります。そして、大福のように美味いつくたてお餅が食べられる「砧地区緑化まつり」は今年も5月に開催予定です。詳細については次号をぜひご覧ください！



生活の中でお困りのことがあれば、
砧まちづくりセンター、砧あんしんすこやかセンター、社会福祉協議会(砧地区事務局)へ。
全て同じ建物内にあります。〒157-0073 世田谷区砧5-8-18



砧まちづくりセンター	TEL 03-3417-3405	FAX 03-5494-7016
砧あんしんすこやかセンター	TEL 03-3416-3217	FAX 03-3416-3250
社会福祉協議会砧地区事務局	TEL 080-9418-7736	FAX 03-4330-1226

「砧のひびき」は世田谷区のホームページでもご覧になれます。
※掲載内容の概要は音声読み上げにも対応しています。

砧のひびき

検索

